

JLA 競技規則の一部改訂について

2022 年 3 月 10 日(木)に改訂された箇所に水色マーカーを付けています。

2.5.1 世界記録

2.11.1 年齢区分の定義

2.15.2 ライフセービング競技のフェアプレー規範

2.16.2 不正競争

2.18.2 抗議の申し立て

ILS 記録申請フォーム (WORLD RECORD APPLICATION FORM VERSION 2022)

プール競技失格コード 2

JLA 競技規則 2021 年版の以上の項目について、以下に記すもので差し替えるものとする。

2.5.1 世界記録 World Records

- (a) ILS 世界記録は、競技規則集第 8 章に詳述されている ILS の基準に適合する 50 m プール及び器材を使用してのみ樹立することができる。
- (b) 世界記録は、ライフセービング世界選手権 (LWC)、マルチスポーツ競技会 (例：ワールドゲームズ)、ILS 地域選手権 (ILS regional championships)、ナショナル選手権 (national championship)、パン・ナショナル選手権 (pan-national championships, 例：英連邦選手権)、及び ILS 競技規則を遵守し ILS が認定したその他の選手権又は競技会で樹立することができる。
- (c) ILS は、ILS 競技規則に記載されている全てのプール競技において、ユース、オープン、マスターズの男女の個人世界記録を認定 (recognise) するものとする。これには 55 歳以上のマスターズ競技者の 200 m 障害物スイムが含まれる。これには 54 歳以下のユース、オープン及びマスターズ競技者、並びに ILS LWC において実施される男女カテゴリーを除いた男女混合又は男女別チームカテゴリーの 100 m 障害スイムが含まれない。
- (d) チーム (リレー) 競技の世界記録は、オープン及びユース年齢カテゴリーのラインスロー、マネキンリレー、障害物リレー、メドレーリレー及び (プール) ライフセーバーリレーで認定される (ナショナルチームとクラブチームの記録の区別はない)。ナショナルチーム及びインタークラブチームが世界記録を申請するには、ILS ライフセービング世界選手権ハンドブックで規定されているチーム資格要件を満たさなければならない。
- 注意 1:** ILS は、ナショナルチームとインタークラブチームのそれぞれの最速タイムを個別の世界記録として認定しない。即ち、オープン及びユースカテゴリーの各リレー競技において、最速タイムのみが世界記録として認定される。
- 注意 2:** ILS は、マスターズチーム (リレー) 世界記録を認定しない。
- (e) リレー競技で ILS 世界記録を樹立するには、チームは、ILS LWC ハンドブックで規定されているオープン及び/又はユースのナショナル又はインタークラブの資格要件 (該当する場合) を満たさなければならない。
- (f) 世界記録は、ILS の正会員 (full member)、準会員 (associate member) 又は通信会員 (corresponding member) である団体の会員で、且つ、ILS 認定競技会又は ILS 主催競技会に参加資格のある者が樹立し保持することができる。
- 注意:** ILS 正会員は、準会員又は通信会員に所属する会員が ILS LWC、地域選手権等、及び ILS 公認競技会に出場する許可を与えねばならない¹。この許可が無い場合、世界記録は ILS で認定されない。
- (g) ユース競技者は、その時点で競技しているカテゴリー (即ち、ユース又はオープン競技会) に関係なくユース又はオープンの世界記録を樹立することができる。
- (h) マスターズ競技者は、競技しているカテゴリーに関係なく (即ち、参加しているマスターズ又はオープン競技に関係なく) マスターズ及び/又はオープンの世界記録を樹立することができる。但し、

¹ 【JLA 注釈】 ILS 正会員 (の会員) しか LWC 等に参加できないので、準会員、通信会員の会員は正会員に出場許可を得る必要がある。

マスターズ競技者は、指定されたマスターズ年齢区分のマスターズ記録のみ主張することができる

- (i) ライフセービング世界選手権のマスターズ、インタークラブ又はナショナルチームで達成された全ての記録は、自動的に（そしてドーピング検査無しに）承認（approve）されるものとする。

注意 1: LWC での記録が漏れなく記述されるよう世界記録申請フォームに記入することを推奨する。チーフスチュワード/ヘッドスコアラーはこのプロセスを支援すること。

注意 2: ILS LWC, ワールドゲームズ, ILS 地域選手権, 又は ILS 認定競技会で達成されたマスターズ世界記録は、陰性のドーピング検査証明書が無くとも認定されるものとする。

- (j) 他の競技会での記録は、以下を満たすことを条件に認証（approve）されるものとする：
- (i) その競技会は ILS により認定されて（sanctioned）なければならない、
 - (ii) 全ての記録は、少なくとも競技の 3 日前までに広告により公にアナウンスされ、公で開催された競技会で樹立されなければならない、
 - (iii) （競技種目に特化したものを含む）施設の規格及び器材の仕様書は、検査担当者又は別途 ILS 管理委員会（ILS Management Committee）又は ILS 認定競技会を主催する ILS メンバー組織により任命された又は認証された有資格者により保証されなければならない、
 - (iv) ILS は、全自動審判計時装置によりタイムが記録された時に限り世界記録を受け入れる。
- (k) 1/100 秒まで等しいタイムは同タイムとして認定され、同タイムを樹立した複数の競技者は「ジョイントホルダー（Joint Holders）」と称される一レースの勝者のタイムのみが世界記録として申請することができる一記録を打ち立てたレースでタイムが同じであった場合、同じタイムの競技者それぞれが勝者とみなされる。
- (l) レースの勝者のタイムのみが世界記録として申請することができる。ただし、そのレースに年齢グループの異なる競技者がいる場合、各年齢区分における最速競技者による世界記録としてそれぞれのタイムが申請され得る。
- (m) 記録を打ち立てたレースでタイムが同じであった場合、同じタイムの各競技者を勝者とみなし、世界記録を共同で保持するものとする。
- (n) あるレースで記録が樹立され、後のレースでそれが破られた場合、先のタイム及び後のタイムが歴代の世界記録として認定される。
- (o) 世界記録は、ドーピング検査が陰性であることを含め全ての規定を遵守していることをチーフレフリーが保証しサインした公式な ILS 記録申請フォーム（この章末を参照、又は ILS Record Application Form : www.ilsf.org で入手可能）を用いて、競技会の組織委員会のしかるべき責任と権限のある者により申請されなければならない。申請書は、競技終了後 28 日以内に ILS 記録管理人（ILS Custodian of Records）に送ること。
- (p) ILS 記録申請を受理し次第、及び申請書に記載の情報が正確だと認識され次第、ILS 記録管理者は、ILS 事務局長が世界記録を公表すること、そして ILS 会長と ILS 事務局長の署名入り世界記録認定書を競技者に付与することを提言する。
- (q) ドーピング・コントロールと世界記録
- (i) ILS ドーピング防止規則に準拠した対象者及び無作為の検査システムのあるインタークラブ又はナショナルチームのライフセービング世界選手権、ワールドゲームズ、又は ILS 地域選手権で樹立された全ての世界記録に対して、陰性のドーピング検査証明書は不要である。

- (ii) ILS 認定競技において ILS 世界記録又はそれと同タイムを達成したユース又はオープン競技者は、レース後に「ドーピング・コントロール」を受け、ILS 認定競技会で樹立された世界記録を認定するための ILS 記録申請に添えて陰性のドーピング検査証明書を提出せねばならない。ILS が認定していない競技会では、記録は認定されない。
 - (iii) もし競技会においてドーピング・コントロールがなかった場合、競技者はレース後24時間以内にドーピング・コントロールに従わなければならない。
 - (iv) ILS LWC, ワールドゲームズ又は ILS 地域選手権, 又は ILS 認定競技会で樹立されたマスターズ世界記録は、陰性のドーピング検査証明書が無くても認定される。
- (r) 世界記録申請が受理されず、その決定に不服がある場合、ILS スポーツ委員会(ILS Sport Commission)に付託され検討されるものとする。

2.11.1 年齢区分の定義² Determining Age Categories

ライフセービング世界選手権等の競技において、ILSはIOCガイドラインに従って競技者の年齢を決定するものとする。競技者の年齢及び適格年齢群は、当該競技者が競技に参加する年の12月31日現在において何歳であるかによって決定される。

以下に例を示す：

オープン競技会 Open Competition	
該当者：	競技開催年の12月31日以前に16歳になる競技者。最高年齢の制限はない。
非該当者：	競技開催年に15歳未満又は15歳になる競技者。

ユース競技会 Youth Competition	
該当者：	競技開催年の12月31日以前に15, 16, 17, 18歳になる競技者。
非該当者：	競技開催年に14歳未満又は19歳になる競技者。

マスターズ競技会 Masters Competition	
該当者：	競技開催年の12月31日以前に30歳になる競技者。最高年齢の制限はない。
非該当者：	競技開催年に29歳になる競技者。

ILS マスターズ個人競技種目は、30歳から75歳以上までの5歳刻みで実施することができる、例えば、30～34、65～69、75歳以上。

ILS マスターズの2人チーム競技種目は、30歳から75歳以上までの5歳刻みで実施することができる、例えば、最年少のチームメンバーの年齢に基づいて、30～34、65～69、75歳以上。

ILS マスターズの3人チーム競技種目は、3人のチームメンバーの年齢の合計が90～109、110～129、130～149、150～169、170歳以上の年齢グループで実施される。

ILS マスターズ・サーフボートの年齢区分は、4人の漕手（スイープを除く）の年齢の合計が、120～139、140～159、160～179、180～199、200～219、220～259、260歳以上の7つの年齢区分で実施される—第6項参照³。

連盟は、どの年齢区分のマスターズ競技を実施するかを必要に応じて決定する。

² 【JLA 注釈】 JLA 主催競技会の参加条件としての年齢区分及び年齢の数え方は、競技会の目的や規模等を考慮して別途決定する場合がある。

³ 【JLA 注釈】 JLA 競技規則では「第6章サーフボート競技」を省略している。

19 歳サーフボード 19 Years Surf Boats	
該当者：	大会開催年の 12 月 31 日以前に満 16 歳, 17 歳, 18 歳, 19 歳になる者。
非該当者：	大会開催年に 15 歳又は 20 歳になる競技者。

23 歳サーフボード 23 Years Surf Boats	
該当者：	競技開催年の 12 月 31 日以前に 16, 17, 18, 19, 20, 21, 22, 23 歳になる競技者。
非該当者：	競技開催年に 15 歳, もしくは 24 歳になる競技者。

IRB 競技 Inflatable Rescue Boats	
IRB ドライバー IRB Drivers:	
該当者：	競技開催年の 12 月 31 日以前に 18 歳になる競技者。最高年齢の制限はない。
非該当者：	競技開催年に 17 歳以下になる競技者並びに国内連盟により IRB 資格を与えられていない競技者及び無免許のドライバーである競技者。
注意:	多くの国において, ドライバーは, 海上船舶を操縦するために法制度に基づいて免許を付与される必要がある。組織委員会は, 参加要件の 1 つとして現地の要件を伝えなければならない。
IRB クルーパーソン, ペイシェント及びハンドラー IRB Crewpersons, Patients and Handlers:	
該当者：	競技開催年の 12 月 31 日以前に 16 歳になる競技者。最高年齢の制限はない。
非該当者：	競技開催年に 15 歳未満又は 15 歳になる競技者。

2.15.2 ライフセービング競技のフェアプレー規範 Fair-play code for lifesaving competitions

競技会，特に世界選手権は，善意の精神及びスポーツマンシップに則って実施されることが重要である。

競技者は規則に従い，その範囲内で競技することが求められている。規則違反はチーフレフリーに報告され，チーフレフリーは「2.16 不正行為」に記述された行動を起こすことができる。

チームメンバーは，自身の国/地域，組織，所属団体/クラブ，スポンサー及び ILS/JLA を代表している。よって，チームメンバーは，選手権や社交の催しを含む関連活動の間，常に適切且つ礼儀正しく行動すべきである。

チーム又はそのサポーターによる不適切行為は重大な違反行為であり，相応の処分が下される。

他のチームを混乱させ邪魔しようとする行為は重大な違反行為であり，相応の処分が下される。

全ての参加者の行為は，以下の「ILS/JLA フェアプレー規範 (code of fair play)」により評価される：

(a) ILS/JLAは以下の事項を履行する：

- メンバーを介してフェアプレーを推進し，奨励すること，
- 競技者，コーチ，テクニカルオフィシャルそして管理者に対し，ライフセービングスポーツにおける最高水準のスポーツマンシップと良識ある行動を維持する必要性を強く印象付けること，
- 規則が公正であり，競技者，コーチ，テクニカルオフィシャルそして管理者らに明確に理解され，適切に施行されることを確実なものとする事，
- 規則が一貫して公平に適用されるようあらゆる努力を尽くすこと，
- 性別，性自認 (gender identity)，インターセックス (intersex) 状態，性的指向 (sexual orientation)，年齢，能力，人種又は身体的特徴などにかかわらず，すべてのメンバーを平等に扱うこと。
- 他の競技者に対して有利にならないという条件の範囲で，障害を持つ競技者に便宜を図るあらゆる合理的な規定を作成すること。

(以下，2.15.2 の残りは変更無し)

2.16.2 不正競争 Competing unfairly

(a) 競技者（ハンドラー/マネキン・ハンドラーを含む）・チームは、不正行為をしたと判断された場合、その競技が失格となるか、又は競技会から除外される。チーフレフリーは規律委員会に報告し、処遇決定を委任することがある。不正行為とは、以下のような場合等をいう：

- ドーピング又は、ドーピングに関連した行為を行った場合、
- 他の競技者になりすまして競技を行った場合、
- 同じ種目に2度出場した場合、
- 他の団体/クラブの競技者として、同じ種目に2度出場した場合、
- 自分が、優位になるように故意に他の競技者を妨害した場合、
- 登録しないまま競技を行った場合、
- 認可を得ずに他団体/クラブ又は国/地域のために競技を行った場合、
- 競技種目又は競技する位置を決める投票や抽選で不正を試みた場合、
- 規則に適合しない器材を用いて競技を行った場合、
- チーフレフリー又は特別に指定されたオフィシャルの指示に反し競技を行った場合、
- 他の競技者又はハンドラーを押したり、進路を妨害した場合、
- 競技者が外部から身体的又は物質的な助力を受けた場合（障害競技者のため主催団体が特別に認めた場合を除く）、
- （フェアプレー規範に記載されている）競技会の精神に反して参加した場合。

(以下、2.16.2の残りは変更無し)

2.18.2 抗議の申し立て Lodging a protest

抗議の申し立てに関する条件は以下のとおりとする：

- (a) フィニッシュジャッジのフィニッシュ着順の判定に直接的に抗議することは認められない。
- (b) 競技種目又はレースが実施される条件に対する抗議は、競技種目又はレースの前にチーフレフリーに対して口頭で行われなければならない。また、抗議があったことをチーフレフリーは、競技開始前に競技者に伝えなければならない。
- (c) 競技者又はチームに対する抗議、或いはオフィシャルの判定に対する抗議は、競技結果の掲示、又はチーフレフリーからの通告のうち、どちらか早く行われた時刻から15分以内に口頭でチーフレフリーに行われなければならない。さらに口頭による抗議後15分以内に、英語⁴で書かれた抗議/上訴申立書フォーム又はその他受理可能なフォームをチーフレフリーに提出しなければならない。

注意：結果が最終的なものとして宣言されていない場合、チーフレフリーの裁量でこれらの制限時間を延長することができる。

- (d) 抗議が申し立てられた場合、裁定がなされるまで競技の結果は保留される又は確定されないものとする。抗議が支持された場合、順位及び（関連又は必要に応じて）トロフィーは修正された結果に従って変更されるものとする。
- (e) 抗議の顛末は、競技結果カード又は結果記録の裏面に記載され、同時に抗議申立書にも記載すること。
- (f) 抗議の手数料は不要である。チーフレフリーが直接に、又はレフリーの判定に不服のあるチームが上訴して上訴委員会に問題を付託する場合、必ず手数料が発生する。

(以下、2.18.2の残りは変更無し)

⁴ 【JLA 注釈】 JLA 主催競技会では日本語で書かれたフォームを提出すること。



WORLD RECORD APPLICATION FORM VERSION 2022

Kind of Record: Record

1. Name of the ILS Sanctioned Competition
Please add the Sanctioning Document
2. Event
3. Gender man woman
4. Age Group open youth masters group
5. Name of the Competitor Family Name , First Name(s) Date of Birth Year, month, day
Name of the Team
6. Names of the Relay Team Members (*names in order of competing*)
 1. , - Date of Birth Year, month, day
 2. , - Date of Birth Year, month, day
 3. , - Date of Birth Year, month, day
 4. , - Date of Birth Year, month, day
7. Country
8. Member Organisation
9. Record claimed 0'00"00 min
Please add the official result
10. Date and Time of Race January 2016 at 0:00 a.m.
City and Venue
11. Chief Referee Approval:
Name

Signature
Date
12. Doping Control
External Sample Code
Please add the certificate

Note 1: ILS does not recognise world records for any masters team events, for the 100m Obstacles event for youth, open and for masters under 55 years of age, and mixed or single gender events in team categories except where conducted in those gender categories at Lifesaving World Championships.

Note 2: Masters world records set at any ILS LWC, World Games, or ILS regional championships or ILS sanctioned competition shall be recognised without a negative doping test certificate.

An interactive version of this form is available online at www.ilsf.org.
The completed form must be sent to the ILS Custodian of Records,
Dr. Detlev Mohr, e-mail: detlev.mohr@dlrg.de or fax +49 331 86 43 35
or to the sport commission of the ILS region in accordance with the record rules.

プール競技失格コード表 DISQUALIFICATION CODES FOR POOL EVENTS

コード及び失格内容 Code and Disqualification	競技種目 Events
1. 競技の説明又は共通競技総則に沿って競技しなかった。	全競技種目
2. チーム、競技者及びハンドラーが不正行為をした場合、競技者又はチームは失格となる。不正行為には下記のような例が含まれる： <ul style="list-style-type: none"> • ドーピング又は、ドーピングに関連した違反行為、 • 他の競技者になりすますこと、 • 競技順や位置決め投票又は抽選で不正を試みること、 • 同じ個人種目に2度出場すること、 • 他のチームの競技者として同じ種目に2度出場すること、 • コースで自分が優位になるために故意に妨害すること、 • 他の競技者又はハンドラーを押して進路を妨害すること、 • 競技者が外部から身体的又は物質的な助力を受けること (口頭又はその他の指示を除く)、 • (フェアプレー規範に記載の) 競技会の精神に反して参加すること。 	全競技種目

(以下、プール競技失格コード表の残りは変更無し)

(End of Document)